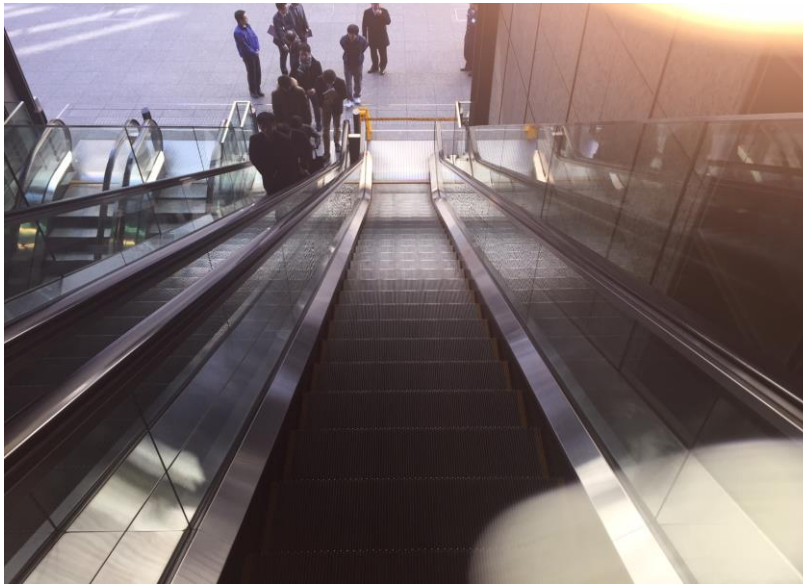
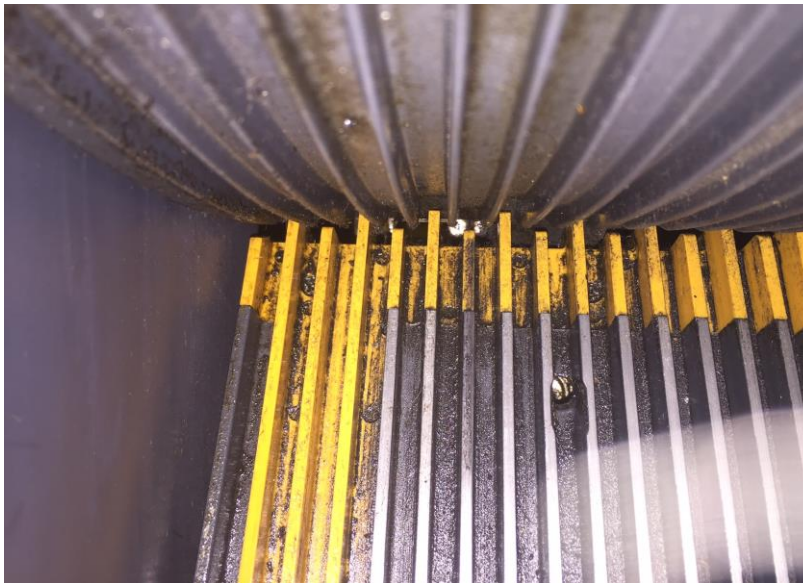


# 東京 複合施設 SM

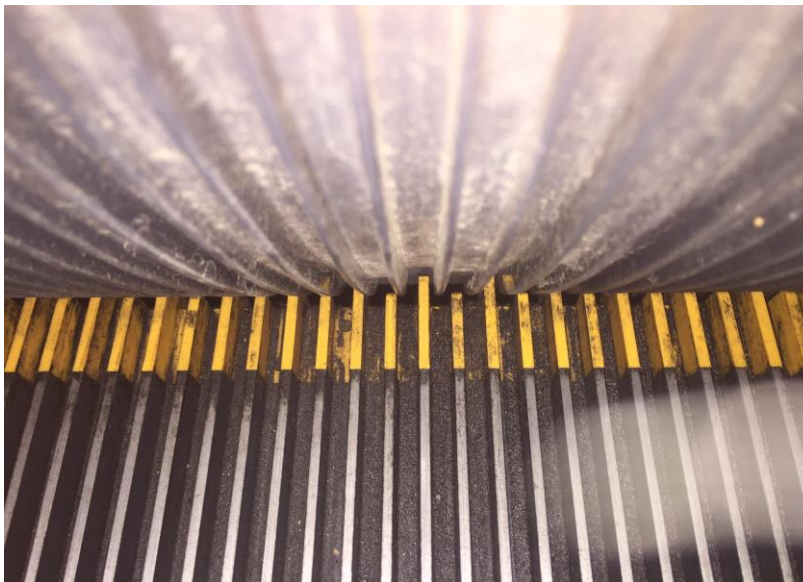
No.1



設備名	エスカレーター
設置場所	1階～2階
エスカレーター幅	
1000タイプ	
10年前に設置	
<p>東京駅の超有名なメイン大型施設。 素晴らしく綺麗に清掃された館内のなかで設置10年以上のエスカレーターだけが美観を損なっている。</p>	



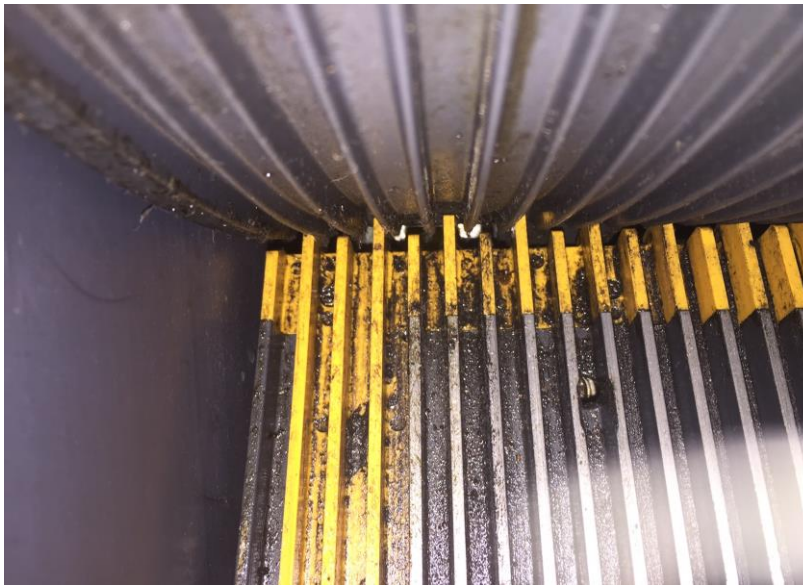
設備名	エスカレーター
設置場所	1階～2階
エスカレーター幅	
1000タイプ	
清掃前	
<p>10年間で蓄積されたスラッジ汚れはエスカレーターの溝にこびり付いており、モップや箒などでは簡単に落ちない。 見た目よりもひどく頑固な汚れである。</p>	



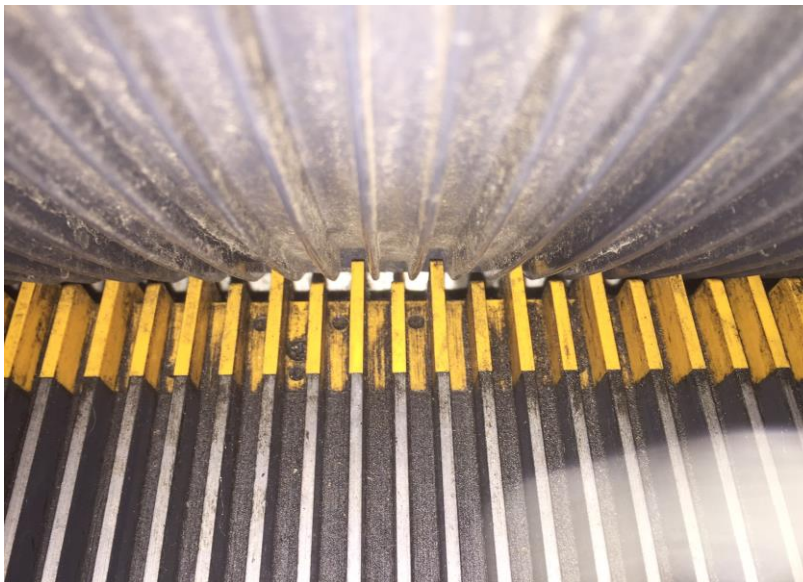
設備名	エスカレーター
設置場所	1階～2階
エスカレーター幅 1000タイプ	
清掃前	
<p>半屋外設置のエスカレーターは汚れと痛みが激しい。 特に黄色の部分(デマケーションライン)は、埃や汚れが蓄積しやすく見た目にも目立つために景観を大きく損なう。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	1階～2階
エスカレーター幅	
1000タイプ	
<b>清掃前</b>	
<p>駆動部分のグリース油が埃などと固まり、真黒なスラッジとなって溝の奥までこびり付いている状態。</p>	



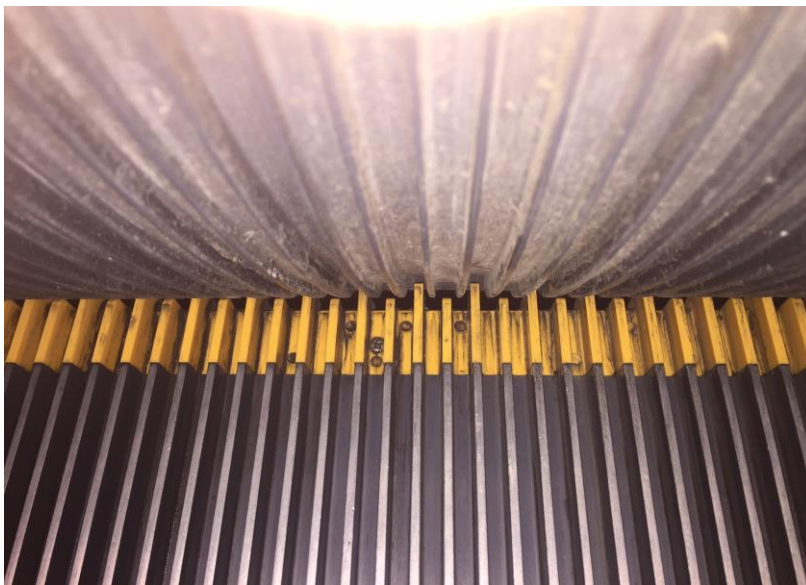
設備名	エスカレーター
設置場所	1階～2階
エスカレーター幅	
1000タイプ	
<b>清掃前</b>	
<p>こびり付いたスラッジは酸化傾向にありエスカレーターを痛める原因となっている。 縦の蹴上がり部分のライザーも一部酸化して茶色くなっている。</p>	



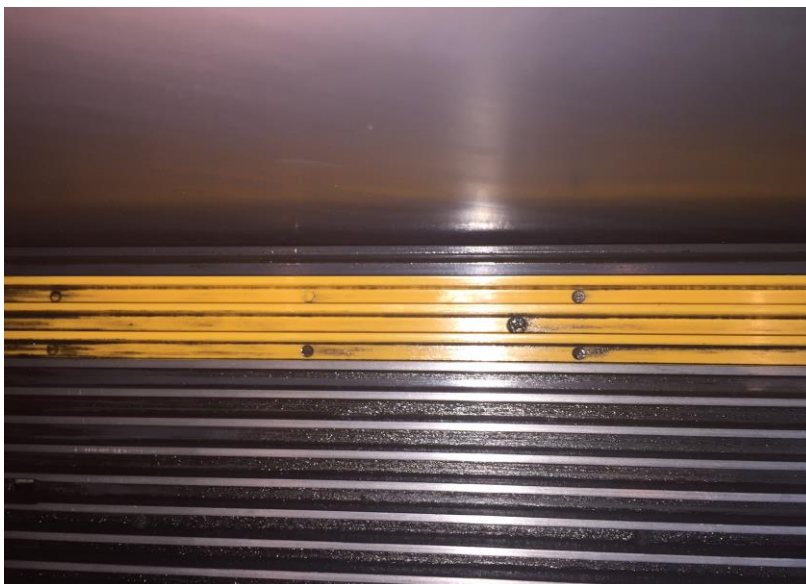
設備名	エスカレーター
設置場所	1階～2階
エスカレーター幅	
1000タイプ	
<b>清掃前</b>	
<p>日本の観光の出発地である東京駅に立地するブランド施設であればこそ、エスカレーターの輝きがより以上の訴求力を発揮し、ブランド力を高めることになるが、この状態では・・・。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	1階～2階
エスカレーター幅	
1000タイプ	
クリーニングパッド	
<p>駆動部分のグリース油が埃などと固まり、真黒なスラッジとなっており、こびり付いていた汚れをクリーニングパッドが見事に拭きあげる。 パッドは水洗いをして約10回以上の再利用が可能である。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	1階～2階
エスカレーター幅	
1000タイプ	
清掃後	
<p>半屋外エスカレーターで10年が経過しているため、スラッジのこびり付きが酷く、初回の清掃だけでは完全に汚れは取り切れていない。しかし、その後の定期的な清掃でこの汚れも綺麗になっていく。</p>	



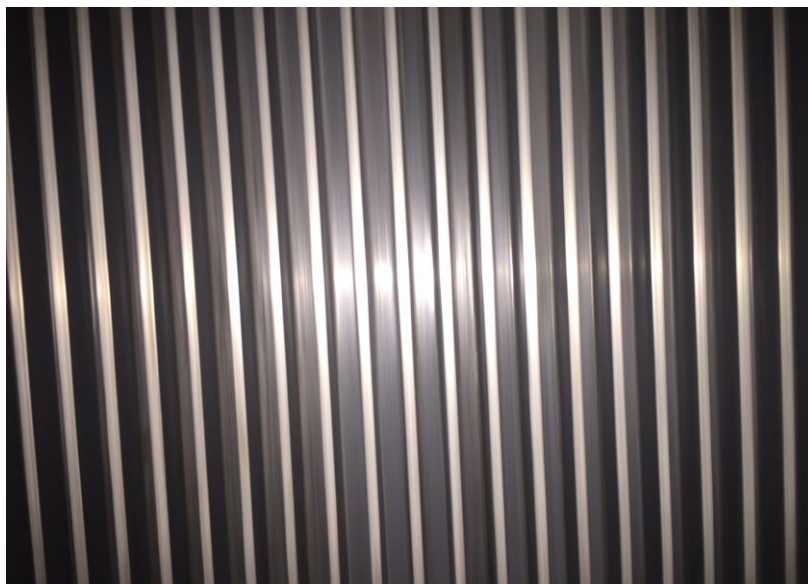
設備名	エスカレーター
設置場所	1階～2階
エスカレーター幅	
1000タイプ	
清掃後	
<p>わずかに取りきれないスラッジ汚れは、定期清掃を続けることで取りきられ、常に美しいエスカレーターの状態を保つことができる。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	1階～2階
エスカレーター幅	
1000タイプ	
<b>清掃後</b>	
<p>ステップ面が綺麗であれば蹴上がり部分のライザーも確実に汚れにくくなる。 また、ステップ面の定期清掃でライザーも綺麗になっていくという結果報告がある。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	1階～2階
エスカレーター幅	
1000タイプ	
<b>清掃後</b>	
<p>真黒だったデマケーションライン(黄色い部分)もこびり付いた頑固な汚れがほとんど取れて、黄色が綺麗に見えるようになる。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	1階～2階
エスカレーター幅	
1000タイプ	
<b>清掃後</b>	
<p>溝の奥まで埃とスラッジが取れているのがよくわかる。スラッジの汚れを取ることはもちろんであるが、エスカレーターが輝いて見えるのがREN清掃の特徴でもある。</p>	